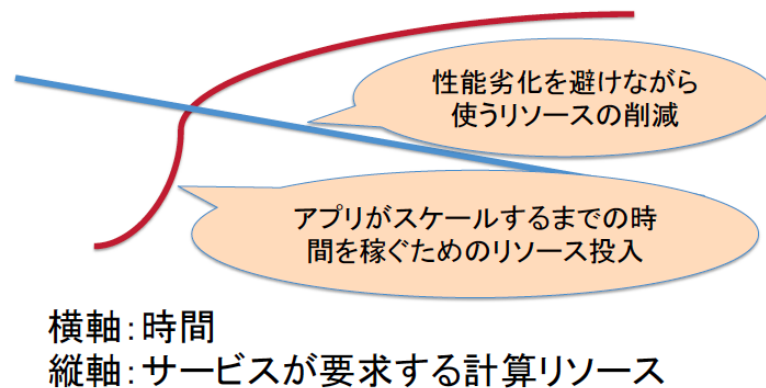


インタークラウドをアプリケーションとした オープンな閉域網接続の実現に向けて

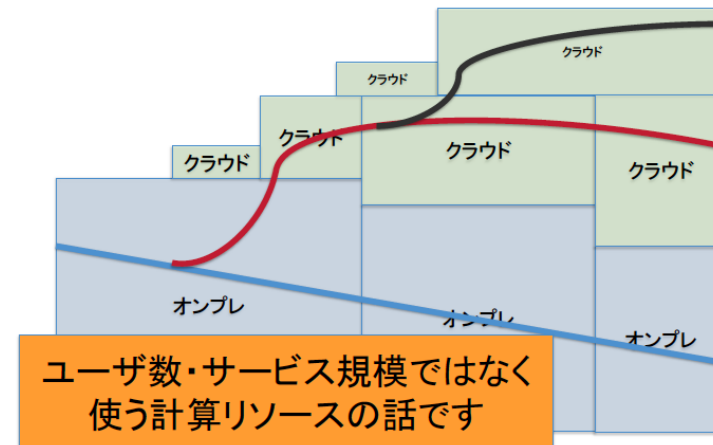
イントロ&まとめ
吉野純平

クラウド利用を前提に構成

サービスごとと要求リソースの変化

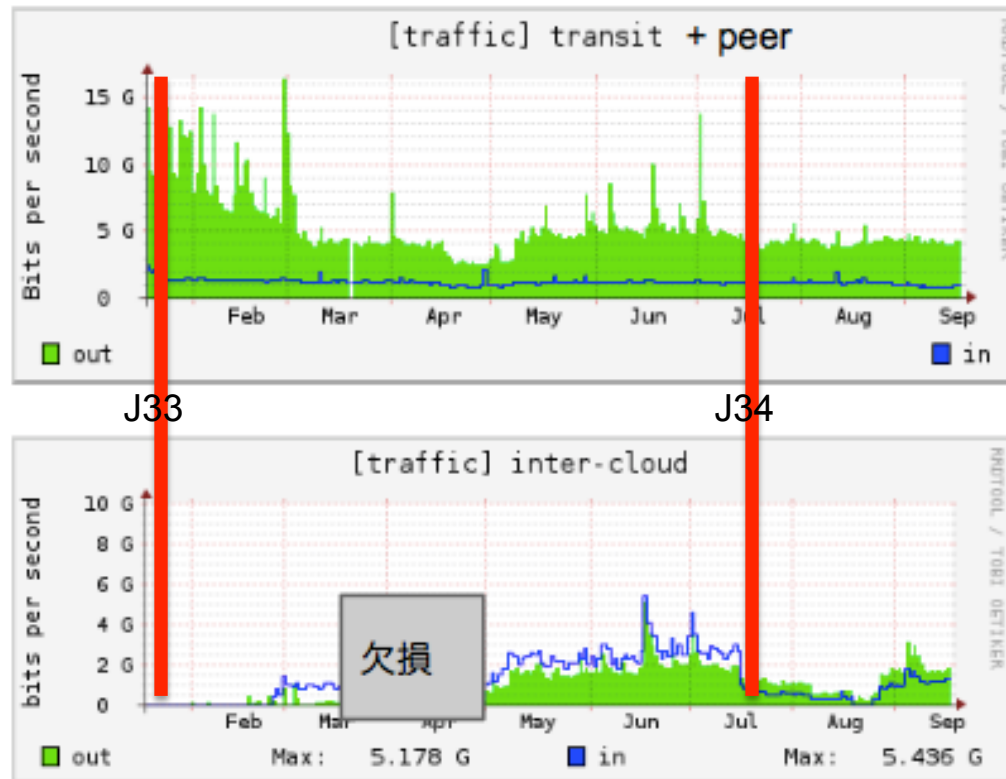


リソースの組み合わせ方



interop2014の吉野の資料より引用

トラフィックトレンド



2014年前半の傾向

上：インターネット

下：クラウド間

クラウドつらい時もある

- 要求のミスマッチがある
- 品質は波がある

ダイバーシティ重要

- クラウド事業者に
- クラウド間接続事業者に

依存したくない

今すぐやりたい！！！！
さっさとやる！！！！

そのための方法を考えて
やってきた結果の共有です。

イントロ完

ネットワーク視点の まとめ

- MPLSで事業者間接続は動いた
 - （キャリアさんにとっては当たり前かも？）
- L2越しに多事業者できた
- IX事業者さんの上で変更を最小限でできた
- 課題を感じることができた
 - > 次のスライド以降

次の戦い1:事故防止

- 現状はRTとprefixでフィルタしている
- このまま拡張できるのか？
- エッジのVRFへ誤import事故防止したい
 - エンドユーザがprefixに検証用の情報つけるようなものはどうだろうか？
 - target, sooとは違うextended community が欲しい

次の戦い2:トラフィック測定

- Option Bだとsnmpで取れない
- 組み合わせでトラフィック情報が取れる
 - Netflow v9のラベル情報
 - mpBGPでのラベルとVPN情報
- IX事業者様でできませんか？
 - mpbgp route views + sflowあればできるかも？

次の戦い3:トラフィック制御

- 少数prefix環境でのincomingが難しい
 - out goingはECMPで頑張る？
- どうやる？(妄想)
 - /32等の経路注入でバラす？
 - LACPで太くする？

コンテンツ屋視点のまとめ

- ひとまず希望するネットワークができた
 - コスト、デプロイスピード
- 今やっている課題
 - 省力運用
 - 何分で隣のクラウドに移れるか

検証実験

こんなトポロジで動きました

